

道路事業の再評価概要書

() は、前回計画時

道 路 事 業 の 再 評 価 概 要 書			番 号	1
			事業主体	栃 木 県
事業名	快適で安全な道づくり事業		事業所管課	県土整備部 道路整備課
路線・河川名	主要地方道 藤原宇都宮線 <small>ふじはらうつのみや</small>		事業箇所名	宇都宮市 <small>うつのみや</small> 中里工区 <small>なかさと</small>
事業区間	宇都宮市中里町～金田町 <small>うつのみやしなかざとちょう かねだちょう</small>		事業延長	2,400m
H14年度事業化			H14年度用地着手	H14年度工事着手
事業期間	(H27) H14年度～H32年度	事業 進 捗 状 況	基準年次：【平成28年度末時点】	
[うち用地補償費]	[32.4 (33.2)億円]		[うち用地補償費]	[31.1 億円] [96%]
全体事業費	49.5 (47.6)億円		既投資事業費	45.7 億円 92%
事業概要				
<p>主要地方道藤原宇都宮線は、宇都宮市と県北部方面を結ぶ幹線道路であり、地域間の連携・交流の拡大を図る重要な役割を担っている道路である。</p> <p>しかし、宇都宮市中里町地内の一般国道293号との交差点には右折レーンも設置されていないことから、朝夕には渋滞が発生するなど、円滑な交通の確保が課題となっていた。</p> <p>また、東北自動車道上河内スマートインターチェンジの整備や、中里原区画整理事業が進んだことにより、交通量が増加し、整備の必要性が一層高まっている状況である。</p> <p>さらに工区沿線には上河内中央小学校や上河内中学校が立地しているにもかかわらず、歩道が未整備であることから、登校する児童の安全の確保が必要である。</p> <p>このため、平成14年度から事業に着手し、平成23年5月には国道293号との交差点改良が完了したところである。</p> <p>残る区間についても、引き続き整備を進め、渋滞や幅員狭小区間の解消を図るとともに、安全な自転車・歩行者空間も確保するものである。</p>				
事業を巡る社会経済情勢の変化、事業計画の大幅な変更 等				
特になし				
事業の投資効果				
1 費用対効果分析結果		【総便益 (B)】	【総費用 (C)】	
(1) 事業全体 B/C=3.1		187 億円	60 億円	
(2) 残事業 B/C=8.1		33 億円	4.1 億円	
2 事業の整備効果等				
<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞箇所・狭隘区間の解消。 ・自転車及び歩行者の安全を確保。 				
事業の進捗状況等				
1 事業の進捗状況				
<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年5月に国道293号との交差点部(L=700m)の改良が完了した。 ・平成28年3月時点で用地取得は概ね完了しており、順次工事を推進している。 				
2 今後の事業進捗の見込み				
<ul style="list-style-type: none"> ・平成32年度に暫定2車線供用を図る。 				
コスト縮減等				
1 コスト縮減方策				
<ul style="list-style-type: none"> ・再生骨材、再生アスファルト合材を積極的に活用しコスト縮減 				
2 代替案立案等の可能性				
<ul style="list-style-type: none"> ・すでに大部分の用地を取得しており、本計画が最適である。 				
事業の対応方針(案)		現計画で事業を継続する。		

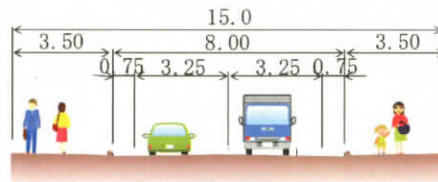
事業箇所(位置図・概要図)

位置図

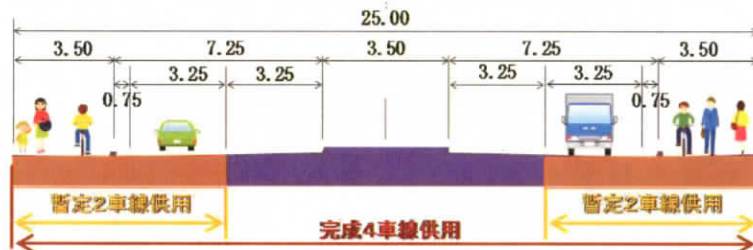


標準横断面図

国道293号以北



国道293号以南



概要図





写真1: 293号交差点の渋滞状況(事業前)



写真2: 現道状況(293号交差点南)



写真3: 供用区間【国道293号交差点】